

石積みと花による沿道景観づくり

鹿児島県長島町役場 事業推進課

1. 町の概要

長島町は、鹿児島県薩摩半島の北西部に位置し、四方を東シナ海、八代海、長島海峡に囲まれ、一部は雲仙天草国立公園に指定されるなど豊かな自然に恵まれた地域である。長島本島は、昭和49年4月に黒之瀬戸大橋の開通によって阿久根市と結ばれ、離島から半島化した。観光的にも鶴の北帰行の撮影スポットとして全国からマニアが集まる行人岳や、かごしまよかところ100選に選ばれた景勝地など数多く点在する。また近年島の中央山稜地帯には26基の国内最大級の風力発電が稼働している。平成18年3月に島内に2町あった町が合併し人口12,000人総面積122km²の新生長島町が誕生し3年が経過したところである。

主な産業は、農業、漁業でリアス式海岸を利用して行われているブリの養殖は日本一であり、本町特有の赤土で育ったバレイショはブランド指定されている。また、温州みかん発祥地としても有名で、かんきつ類の栽培も盛んである。鹿児島市や鹿児島空港から車で約2時間がかかり、やや遠隔地にあり、交通アクセスの不便さは否めないが、23年春の九州新幹線全線開通や西回り九州自動車道、空港道路の工事も急ピッチで進められている。



長島町位置図

2. 町の目標

長島町は、総合振興計画（フルデュープラン）を基本構想に「夢と活力があり住民一人一人を大切にす

る福祉のまちづくり」を掲げている。

(1) 夢づくり

- 九州西海岸軸構想の三県架橋、獅子島架橋実現への取り組み
- 長島一周ぐるっとフラワーロードづくり

(2) 活力あるまちづくり

- 農業、漁業の活性化
- 観光との結びつけ
- 公共工事による雇用創出と生活環境づくり

(3) 福祉の充実

- 福祉事務所の充実
- ともしび隊の充実

3. 取り組みの概要

町では、夢づくりの一つとして、平成 19 年 4 月に長島町景観条例を施行し、町民が誇りの持てる、潤いと安らぎのある特色あるまちづくりを提唱しその一環として、島全体を景観地区ととらえ「石積みと花」をテーマに、長島を一周する国道 389 号、県道 47 号、379 号の 3 路線を重点箇所として四季を通じ沿道を花でラインとして繋ぐ「ぐるっと一周フラワーロードづくり」事業を展開している。更には町の基幹産業である農業、漁業の活性化と観光の情報発信を目的に、町の玄関口である黒之瀬戸大橋のたもとに直売所と観光案内所を平成 22 年春にオープンさせる予定で工事に着手している。



景観条例制定看板

(1) 事業の背景

地域の豊かな自然に加え花づくりの気運は高く、島の西海岸側の国道沿線は、15 年程前から町花「水仙」(新町も同じ)をまちづくりグループ等の呼びかけで植栽され、毎年 1 月には「すいせんウォーキング大会」が開催されている。一方石積みについては、長島は平坦地が少なく、古くから島内どこでも豊富に産出される安山岩を積み上げ農地を確保し農業が盛んに行われている。特に雨が少ないこともあり段々畑が多くいたる所で観られる光景である。



国道沿いに咲く水仙



町道の石積み



石積みによる花壇造成



県道沿いの石積み花壇



町道の石積み花壇



石積みの復元とフラワーロード

(2) 沿道の景観づくり

このような背景のなか景観条例施行を機会に町道、農道の改良部分等で可能なところは、道路管理の省力化と景観の両面から、切土の法面の下部を自然石の石積み擁壁とし、天端は場所によっては花壇とし、道路の空き地には、石積み花壇を設置しボランティア団体や自治会で管理がなされている。

一方島を一周する国道、県道約 40km はぐるっとフラワーロード事業を推進しており、昨年町花の水仙球根の植栽をほぼ終わり春には可憐な花が咲いたところである。

沿道の空き地には、管理者の許可を受け段々畑をイメージした石積み花壇を設置するとともに、花壇を設置できない所は路肩に植栽するなど、積極的に花を取り入れ事業所や各種グループにより管理されている。更に沿道の草に覆われた古い石垣も多く、雑草を取り除きモルタルで間詰めをして、復元を図るなど埋もれた資源も再現しながら良好な景観づくりを促進している。ボランティア花壇を設置管理していただく団体には、町が景観協定認定団体として認定し看板を支給、町の広報等で公表し、他団体への参加も呼びかけ事業の啓発も行っている。町民の関心は高く現在認定団体が 43 団体で、認定を受けない団体を含めると約 70 団体を超えまだ増えつつある。沿道は花で綺麗になり町内外から好評を受けるようになってきた。



県道沿いのボランティアによる花壇



県道沿いのボランティアによる花壇



ボランティアによる花壇の管理



夢追いふるさと景観寄付による花壇

4. 事業財源

(1) 町道、農道改良

- 合併特例債
- 過疎債

(2) ぐるっとフラワーロードづくり事業

- 頑張る地方応援プログラム
(特別交付税)
- 夢追いふるさと長島寄付金による寄付金 (ふるさと納税制度)
(景観事業に特化して使用)
- 地域活性化 地域対策臨時交付金

5. 事業の効果

- (1) 町内で花づくりの気運が高まり町内全域が美しく変わりつつある。
- (2) 町道、農道に自然石の石積み工法を採用することにより草払いの必要がなく、省力化になり特に高齢化の進む地域に喜ばれている。
- (3) 石積みは、コンクリート構造物の約3割安で出来ることから、工事費の節減にもなっている。
- (4) 景気浮揚対策の緊急雇用事業に最適な事業であり雇用の場を提供し喜ばれている。
- (5) 花壇の建設等で建設業の仕事が増えている。
- (6) これまで使用されなかった自然石が建設資材として価値が生まれてきた。
- (7) 交流人口、特にドライブ等の流入人口が増えている。

6. 今後の課題

- (1) ボランティアの育成
 - 地域子供育成会、学校など各種団体との連携
 - NPO 法人との連携
- (2) 将来にむけての花壇管理
 - 現在四季の花を中心に行っているが手の掛からない種類の植栽の検討
 - 花の苗の確保（苗作り講習会の開催）

7. まとめ

長島町の景観事業については、取り組み開始から2年半と日が浅く外に紹介するにはまだ早いと感じておりますが、ふるさと納税制度や景気浮揚対策等の事業を利用し一応の目途が出来ましたので、投稿させて頂いたところであります。

長島町の景観づくりは、町民・事業所・行政が協働で取り組み、特に事業所が協力的で本事業の推進役となっております。育苗については、町営の老人ホームの入所者も協力し、生きがいとなっているなど、町民みんなで行っております。今後、ラインから面としての整備も計画し、町全域の景観整備を進めてまいりますので、ご助言やご指導を賜りますようお願いいたします。